

進路だより 第1号

令和4年 7月 19日

岡山県井原市立高等学校 進路課

各学年の目標について確認しておきます。

1年生 自己理解	2年生 将来設計	3年生 目標決定	4年生 目標実現
これからの自分にとって最もふさわしく生きていく道（進路）を探すために、自分自身について考える機会を持ち、進路選択に向けての準備を始める。	将来の進路についての関心を高め、自己の能力・適性の理解を深めるとともに、将来の志望を明確にすることに努める。	日々の学習やインターンシップなどの体験を通して、社会への適応能力を伸ばし、自分の興味・適性に合った進路目標を吟味の上、決定する。	自分の進路目標を実現するとともに、社会人として必要な知識や態度を身につける。

4年生の進路目標は「**目標実現**」です。今月に入ってから、企業からの求人票が届いています。就職希望者は、求人票の内容をよく確認し、8月上旬までに複数社見学し、応募先を1社に決定します。ある企業の方は面接では「学ぶ姿勢」を重視するとおっしゃいました。進学・就職いずれにしろ、学びは一生続きますが、そうしたいと思える業種・進学先を見つけましょう。進学希望者は、出願書類の作成・提出、面接対策などの受験準備をします。この夏、4年生は応募前職場見学や面接練習、書類作成や入試対策など、目標実現への正念場を迎えます。

3年生の進路目標は「**目標決定**」です。将来の職業選択にとって重要なきっかけとなり得るインターンシップがあります。3日間の実習を通して、社会人の意識を持ち、働くことの意義に気付いてもらいたいです。今年度は、井原市主催の「高校生のためのインターンシップ（夏）」に全員で参加します。進学希望者は、オープンキャンパスにも積極的に参加し、進学したいと思える学校を見つけましょう。

2年生の進路目標は「**将来設計**」です。先日、職業体験学習に参加し、将来を考える機会を得ました。企業の方は「うちの業界が好きな生徒さんに来てほしい」とおっしゃいます。事務、販売、サービス、農林水産業、製造、運送、医療・福祉…。どの業種に興味があるか、どの業種に自分が向いていそうか、どの業種なら続けられそうか。それを考えてみたり相談してみたり情報収集したりしながら、将来どうなりたいかを考えましょう。

1年生の進路目標は「**自己理解**」です。1学期中間考査後からアルバイトができるようになりました。初めて何かを始めるのは勇気のいることですが、その先に成長があります。まずは元気なあいさつ、そして遅刻・欠勤しないこと、慣れてくると「言われたこと『+ α 』^{プラスアルファ}」ができるとさらに良いでしょう。また、部活動やボランティア活動やオープンキャンパスへの参加など、様々な体験を通して自分の得意分野や好きなこと、ずっと夢中で続けられそうなことなどについて考えてみましょう。

1 年生、自分発見講座

6月3日（金）、キッズコーポレーションより講師の先生をお迎えして自分について理解を深めるための講座を行いました。講師の先生の体験談をお聞きしたり、簡単な適正診断を行ったりしながら、自分はどんなことに興味を持っているのか、得意なのかを改めて考える良い機会となりました。生徒は自分を見つめ直し、真剣にワークシートに取り組んでいました。これから進路を考えていく上で、良いきっかけになったのではないかと思います。



2・3年生、職業体験学習

6月10日（金）、2・3年生を対象に実施しました。今年度は理容・美容、ファッション・メイク、幼児・保育、介護・福祉、コンピューター、リハビリ、自動車、デザイン・マンガの8分野を開講し、それぞれ、お話を伺ったり職業体験をしたりしました。講義では、その職業への道のりや、給料・福利厚生の話、仕事内容など、専門の先生から直接興味深い話を聞くことができました。体験では、実際にマネキンを使って編み込みをしたり、自分たちでゲームをプログラミングしてみたり、幼稚園や老人ホームで行っている遊びを体験してみたりと、分野ごとに様々な体験をさせていただき、生徒も楽しみながら熱心に参加している様子が見られました。昨年度はコロナ禍により緊急事態宣言が発令されて、オンラインでの実施でしたが、やはり直接話を聞いたり体験したりできる方が生徒達も楽しみながら取り組んでいるのが見て取れました。



4年生、面接対策講座

6月10日（金）、穴吹学園より2名の講師の先生をお招きして面接対策講座を行いました。4年生の昼間部・夜間部合わせて16名の生徒が5つのグループに分かれ面接を受けました。一人一人が自分なりの課題をもって面接に臨み、終わってから講師の先生から講評をいただきました。これまでも本番に近い形で模擬面接を行ってききましたが、外部の方に面接をしていただけるのは大変貴重な機会でした。生徒たちは真剣に面接を受け、終わってからも自分の文章を練り直していました。

